価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話

> FAX03(3207)3918 発 行 人 内 藤留幸 編集主筆
> 竹 澤知代志

テーションは、次の三つの

毎年恒例のこのオリエン

①日本基督教団の 課題を掲げている。

続いて、「教団の歩み」と

れと共に伝道が停滞し、

ついて考えてきたことが述

そ

教団の教師とは何かに

教師検定が混乱した経験か 争によって自らが受験した の教師像」の発題では、

べきことが語られた。 ンスを念頭に教会に仕える 小林副議長による「教団

紛

仕という教師としてのバラ

働きについて、

て、また、教え・福音・奉 び教規という枠組みについ て教団信仰告白、

教憲およ

と、教師検定の意味、そし

③宣教を「共に」担う協力 ②日本基督教団の「宣教」 第一日目には、松井睦教 今回の日程の概略は次の の内容を探ること。 体制を探ること。 争」について触れられ、そ 博をめぐって始まった 教団の歩み」は、 初日の山北議長の講演

参加者80名による記念撮影。心深く刻まれた良い記念に! がなされ、その上で、未来 の努力など、具体的な構想 退教師・無任所教師による るとして、青年伝道や児童・ をしていくことが必要であ が前向きに語られた。 による平和国家形成のため **伝道協力、憲法九条の堅持** 局齢者伝道、 に向けて大胆な伝道の実践 献身運動、 隠 ス、軽スポーツに汗を流す くの滝に散策に行くコー べられた。教師を立てるの は教団という教会であるこ コースが用意され、リラッ

互

いを知り

あう

の「牧会講話」は、今年も小

今や恒例となった三日目

島誠志教師(松山番町教会)

に依頼した。自身の豊かな

間となったようである。

|日目午後の自由時間で | るきっかけとなることを願

温泉に行くコース、近

わりの時がもたれ、場の雰 交えてお互いを知り合う交 によって描いたことは大変 日目の夜は、ゲームを に配慮して分けられ、 クスした交流の時を過ごし 出身神学校と〇コース出身 者がそれぞれ偏らないよう また二日目夜の分団は、

望なども語られ、

のとまどいや悩み、また希 の場に出ての説教や牧会上 だ。各分団とも実際の働き

慰めとなり、希望が与

は限らない。 万事を中庸に

多くの新任教師の

(1)

教団の今を理解する 夜は「交わりの時」。

が発題をした。

ついて」岩﨑隆教師委員が 続いて「カルトの問題に

れてディスカッションがな講演した。夜は分団に分か 若い教師が多く、 が、今年の参加者は比較的 された。三日目は、「牧会 が高くなる傾向が見られた の講演があった。 講話」として小島誠志教師 新任教師の年齢層 教団の歴

岩﨑教師は、「幻想と新々

一く、まず教会形成の基本・

営委員長は、そもそも人間

的に概要を語るのではな

き」の発題では、単に事務

ると結ばれた。

個教会の担うべき役割につ は神の栄光のためになされ いて、続いて教団の組織と れた。そして全体教会と各 について述べられ、すべて 東谷部落解放センター運 教師の役割 そして教会にも差別が起る なくなるために取り組んで ること、そして部落差別が がら語った。 について具体的に語った。 別があることを「差別ハガ いくことの大切さが訴えら 説しながら、現在も部落差 あることを分かりやすく解 被差別部落の起源 などを例に挙げな

絡することが語られた。

この三日間で徐々に崩さ うんですよ」ニコニコ。そ 害も軽微ですから」。停車し ていた、一方的な事故だと 主張すると、「誰もがそう思

そ話すのが聞こえる。 警察 り、「バカヤロー」だけは ご近所の人々が、様子を聞 謝罪して欲しいと迫る。 官まで相手に強情をはって きつけて出てきた。ひそひ んなことはないと言い張 事によらず中間辺りに落と いう話になっている。▼何 いるとんでもないやつだと いが、中庸が常に正しいと し所を見ようとする人は多

教団の教師として宣教を共に担

新任教師57名が豊かな学びと交わりの

き」として内藤留幸総幹事 教師像」として小林眞教団 第二日目午前は、「教団の

して山北宣久教団議長の講 |手続の説明」として勝山健 営委員長の講演があり、「諸 東谷誠部落解放センター運 み~差別と人権~」 として 午後には、「教団の取り組

局長の話がなされた。 金局について」高橋豊年金 て」有澤禧年出版局長、「年 郎幹事、「出版局につい

を含めると計八〇名が参加した。新任教師となって三カ月、それぞれの働きの場から離れて歩みを振り返る 大城山荘にて開催された。 主題は例年通り「教団の教師として宣教を共に担う」。 新任教師が五七名、関係者

一〇〇八年度の新任教師オリエンテーションが、六月二三日(月)から二五日(水)まで静岡県伊豆市の

J共に、課題や悩みを語り合い、同労者としての新しい出会いと交わりの時となった三日間であった。

するところから語り始めら 土台について神学的に考察 なったようである。 史について改めて知る時と

位に立ちたいという意識が にはそれぞれ他人よりも優 宗教」と題して講演した。

車をやり過ごしていた。 激

に寄せ、対向 た。ギリギリ

論ある団体」とは何かとい 体の実際の種類等について うことから始まり、なぜ人 そしてカルト宗教などの団 でしまうのかということ、 がそういう団体に入り込ん 」寧に語った。またそのよ 「いわゆるカルト宗教・議 ぶつかった。大きくハンド ルを切った対向車は、数十 しい激突音。猛スピードで 来た車とドアミラー同士が

の悲惨な現実についても述 おくことや、相談窓口に連 うな宗教や団体に入った人 べられた。予防として、カ ルトの名前だけでも知って あ事故はお互いの責任、被 調停する。彼の結論。「ま な話し合いにはならず、警 **一」と叫ぶ。当然、穏やか** み、畝をクッションにして で当事者二人の話を聞き、 察官が呼ばれた。彼は笑顔 男が、いきなり「バカヤロ 止まった。▼車から降りた メートル先の畑地に突っ込



から語られることによっ

が自己紹介の中でそれぞれ の背景は様々である。それ 言っても、その年齢や人生 ってなされた。新任教師と

良き交わりとなったよう

主の恵みを分かち合う

分ではない者でも主の

ていくことが証しされ 恵みによって用いられ 談を交えて語られ、

会上の苦労などが失敗

の関心の高い説教や牧

経験の中から、

参加者

新任教師、日本(地図)を描く 持って行くのは、過激だ。



山北教団議長による講演、 具体的構想が前向きに語られ!

(小宮山剛報)

に入り込み、 立ち往生し

シュ時に隘路 ▼昔々、ラッ

の説教による閉会礼拝がな され、参加者は緑に囲まれ た会場をあとにし、帰路に 最後に鈴木伸治教団書記 教師を講師に迎えて行わ

教会を会場に西原明隠退 会が六月十二日夜、大阪 なった。第三回伝道講演 を基に講演を聞くことと 廻とわたし」 という主題

.開かれた教会のあり方を模索

て用いたと言えよう。

あらゆる機会を伝道として用い

第 4655 号

に建てられた教会であ

ところで、西原氏は果敢

にその町にある教会とし

街に開かれた教会のあり

など。これらは当時の先

と積極的に受けとめて、

の伝道を委ねられている 建てられたのは、そこへ

も華やかな繁華街の只中

では「みなみ」という最

から見れば、決して伝道 り住んでいる。 人間の目

で来た。この教会は大阪

人内教会に遣わされ、三 |年間に亘る伝道に励ん

現象で住民は郊外へと移

るのかということであ 街をどのように受けとめ

年のたまり場としての

「コーヒーハウス」、劇団

る。

神がその街に教会を

落語の「島之内寄席」

公演の「島之内劇場」、

夜の仕事の人のための

「真夜中のクリスマス」

ったようだが、ドーナツ

西原氏は一九六六年島

報

前列左4人目から、岡本知之、山崎ハコネ、

高

霊性こそが高齢者の伝道力

教区伝道委員長会議開催

教会を会場に二七名の出席 員長会議」は、六月十一日 (水) ~十二日 (木) 大阪 第35総会期「教区伝道委 者をもって開催された。(京

|伝道委員長は主題に沿って 都教区、沖縄教区は欠席) 開会礼拝において北紀吉

で御言葉を説き明かした。 世記1:1~7)という題 「アブラム、七五歳」(創

自殺者が三万を超える中で 同居のケースだという意外 高いと想像するだろう。し 渡り、平和な国にしか存在 かし、最も多いのが三世代 そのうちの3%が六〇歳以 済的に豊かで、医療が行き 者の課題と伝道」。その導入 しの孤独な老人の自殺率が しないと語られた。年間の において「老人問題」は経 主題講演は、岡本知之氏 すると誰もが一人暮ら チュアルケア)で勝負すべ ではなく、「霊性」(スピリ

問題」は「老人の問題」で 質について岡本氏は「老人 な報告を受けた。 それ故、高齢者問題の本 | 感銘を受けた教区伝道委員 | 伝道委員会が開催された。 っている。講師である岡本 知之氏(西宮教会)の講演に 性が高く、伝道する力を持

教

えて、伝道の最前線で働

タント宣教一五〇年を覚

を問安し、

教会の建って

伝道委員会はプロテス

講演会の翌日島之内教会

て様々な伝道を展開した

方を模索したのが、西原

氏とその教会であった。

違いない。今ではどこで 端を行く伝道であったに

も行なっているチャペル

西原氏は教会の理解と

身の経験を踏まえて「伝

街であると言ってもよ 多くあるいわゆる飲み屋

いう問いかけである。お

み屋街は悪魔の巷か」と

用いて、信仰と無縁に思

て始めた。

える人々を教会に招き入

よそ信仰とはかけ離れた

れる試みを行なった。

かつては住宅地もあ

いて来た伝道者からご自

とが出来た。飲食店が数 いる実際の街に触れるこ

持ったのは「繁華街、

飲

協力の下で様々な方法を

講演の中で強く印象を

寸

新

が課題の中身であることに 障害」とし、「老いる自分 はなく、「老人をめぐる関係 して、教会はその課題にタ 気付くべきだと述べた。そ 自身と自分との関係」こそ ーミナルケアで勝負するの

きだと強調した。神に委ね一の家」における実践報告、 から「からし種の家とマナ (敬和学園大学・教務教師)

期に家族と会って挨拶を交 切さを語った。 わし、理解を得ることの大 りを持つようになったら早 講演の後、山崎ハコネ氏

のアドバイスとして、関わ への伝道の具体的な実践へ 性こそが高齢者の伝道力だ と述べた。そして、高齢者 りがとう」と祈れる高い霊 るという信仰、「神さま、 体協議を行った。そこで高 伝道委員長報告を受けた。 別養護老人ホーム浜松十字 そして、平井章氏(社会福 史とその働きが紹介され の園施設長)から施設の歴 祉法人十字の園理事長・特 た。発題の後は、各教区の 二日目は主題に基づく全

な協議会となった。 い課題を分かち合う有意義

(具志堅篤報)

発題に学び、また各教区の 者の課題と伝道〉と題して、 伝道状況と活動を報告し合 岡本知之氏の講演と二つの を含む二七名が参加。〈高齢 からの伝道委員長等十五名 京都教区と沖縄教区が欠

を与えられた。 だことはタイムリーであ る今日において、「高齢者の 課題と伝道」と題して学ん ◎〈高齢者社会〉と言われ 伝道についてよい視点

◎理念的な講演と高齢者施 設現場からの発題で、 伝道に対す 研修

題も上り、決して小さくな 齢者の課題と共に、伝道者 自身が高齢となった時の問

伝道講演会を継続・冊子発行へ

えた教区が増えてきてい 招聘できない教会を多く抱 信徒の減少に伴い、教師を れが生じてきている。また、 る意識と活動にかなりのず ◎各教区の伝道報告にはば らつきがあり、 のバランスが取れていた。

第5回伝道委員会 以下に挙げる。 ★教区伝道委員長会議総括 た議案の中で、主なものを 諸報告に続いて審議され

阪教会、島之内教会を会場 二日(木)~十三日(金)、大 長会議に引き続き、六月十

として、第3総会期第5回

"高齢の信徒こそ、最も霊

の件 えられた講演会であった

いくのか、深い思いが与 で、主のご委託に応えて



病を押して御用に当たる西原明氏 (元島之内教会牧師、現NPO法人国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター

このあり方から何を学ん ことを感謝したい。

(土肥聡報)

営委員を送り出さなかっ 落解放センターが沖縄辺野 会であった事を運営委員会 振り返りを行い、恵みの集 よう働きかけることとなっ た。東海教区へ委員を送る 対し抗議を出したために運 古への米軍基地建設作業に で確認し、支えてくださっ した。次に東海教区は、部 に東中国教区の方々に感謝 まず、第十回全国会議の から意見が出された。答申 への肯定的な意見は無く、

OO七年度分まで担当して だいた吉川大蔵監事には一 ターの会計監査をしていた りは森なおさんが新しく会 いただき、二〇〇八年度か 十二年間、部落解放セン かなどの意見が噴出した。 そも運営委員会の声を聞か ないままなされるこのよう 内容への疑問、批判、そも な検討自体が必要であるの

> ていくとの意気込みが印象 え、解放運動をさらに進め

に残る委員会となった。

(多田玲一報·部落解放

センター運営委員会書記

なった。

部落解放センターを支

取り組み報告を出すことと

★「『宣教一五〇年』をいか に迎えるか」に関する件 伝道に関する文章を集め、 伝道講演会開催を継続

★放送伝道資金残金の使途 に関する件

めていく。継続審議とし、 公式ホームページを調査し 次回委員会までに他教団の ページを開設する方向で進 何らかの形で伝道ホー

(山岡創報)



大阪の繁華街「みなみ」にある島之内教会で

(3回部落解放センター運営委員会 討委員会答申」への意見噴出

場に第35総会期第三回部落 日にかけて、岡山教会を会 の六月十一日午後から十二 開催された。出席者は二八 解放センター運営委員会が 部落解放全国会議終了後 計監事として担当して下さ ある。部落解放センターに のお働きに対し感謝の祈り 会の中で、吉川監事の長年 ることとなった。運営委員 ついての機構改正案に対 委員会」の答申についてで されたのは「機構改正検討 が献げられた。 報告がなされ、答申の内容 常任運営委員会での検討の の戸惑いがまず出された。 議員会で承認されたことへ について出席者のほぼ全員 に答申が出され、報告が常 て接触が充分にないまま 多くの時間を割いて審議 事前に運営委員会に対 七月に持たれるので、次期 討委員との初めての懇談が 常任運営委員会へ検討作業 なお第八回全国会議の中で 標に達するよう望まれる。 告された。次年度はぜひ目 六、七〇四、五二三円が献げ ζ 運営委員会開催までの間、 起こった女性差別発言への られた事が感謝をもって報 七年度の活動献金は目標額 などが審議された。 二〇〇 全国会議の次回開催につい は委託された。 には届かなかったものの、 その他、部落解放センタ 報告、各教区の活動報告: 新キャラバンについて

す

「障がい」を考える全国交流会の開催

るために」

る全国交流会」が開催され、 において「『障がい』を考え

京都教区と沖縄教区を除く

いる集会であるが、

サンライズ(東京都新宿区)

交流の時を持った。

六月十七、十八日、

障がいの苦しみの根底にある心

教会における取り組みのわかちあい」

(3)2008年7月26日

題

教 寸 新 報

退任勧告を巡り賛否 関連議案2件可決

七四名の出席によって成立 され、正議員二二三名中一 **員選挙の予備投票がおこな** 旦 午前はまず、教団総会議 神奈川教区総会は六月二 清水ヶ丘教会で開催 允執行に関する件が扱わ た。その後、教団問安使の の補教師の准允式が行われ れ、可決の後、直ちに二名

われ、つづいて補教師の准 って約一時間にわたって質 受けた。主に北村慈郎教師

に対する教師退任勧告を巡 山北宣久教団議長の挨拶を

疑応答が行われた。 郎教師に対する常議員会決 8号「教団総会に『北村慈 者陪餐問題関連の議員提案 議教師退任勧告を撤回する 総会議員選挙の他、未受洗 件』を議案として提出する による次の二議案。議案題 午後の主な議案は、 案するということは、

者への配餐を止めるように 求めている。この議案を提 告書』であり、まず未受洗 教師に送付されたのは『勧 が、反対側からは、「北村 賛否はほぼ二分された 場などが持たれることなく 教会、教師との話し合いの げられた線で、

から、議案の提案理由に掲 賛成側の紅葉坂教会の議員 礎である」などの意見が出、 川教区が未受洗者陪餐の停 る」。「教団の教師になるに 白と教憲・教規は一致の基 は教憲・教規を遵守するこ とを誓約している。 信仰告 止を拒否することを意味す 当該教区、

なった。 が拠出金を負担することと 事実上の事業主である教会 変更する件」が可決され、 賛成で可決された。 案説明の後、 ですでに時間延長に入って 判などが語られた。 入り、一五六名中九三名の いたため、議案第9号は議 議案第8号の審議の途中 直ちに採決に

神 奈

勧告がなされたことへの批

を教区負担から教会負担に この他、「児童手当拠出金

教団総会議員選挙結果

鈴木伸治(大塚平安)、平 佳靖子 (戸塚)、川又志朗 ぐみ)、東野尚志(鎌倉雪 葉坂)、高柳竜二 (本牧め 夫 (小田原十字町)、尾毛 良愛香 (三・一)、馬場康 隆(六ツ川)、北村慈郎(紅 藤掛順一(横浜指路)、岩崎 ノ下)、藤盛勇紀(藤沢北)、 (横浜明星)、西田直樹 (平 【教職】孫裕久(川崎戸手)、

ノ下)、青木誠二(上大岡) 武田利邦(横浜二ツ橋)、 ノ下)、中林克彦(鎌倉雪 【信徒】望月克仁

本) 本戸政男(橋 内田保彦(六角橋)、金子 幸子(溝ノロ)、小川信順 子 (小田原十字町)、田崎 伊東永子(翠ヶ丘)、數井 紀彦(横浜指路)、杉森耀 (茅ヶ崎)、関滋夫 (蒔田)

(藤盛勇紀報)

的に深刻な社会問題. 全国社会委員長会議•第5回社会委員会

ョン及び自己紹介を行い、

た。

その際に、前総会期に全国

会議が開催されなかったこ

との説明が求められ、併せ

する教区として関心の高い これらは、当該教師が所属 況により同会議を開催する れた。前総会期は様々な状 35総会期全国社会委員長会 ことができず、今回は四年 議が教団会議室にて開催さ 六月十六日~十七日、 第 | 者は京都教区と沖縄教区が 説教の後にオリエンテーシ 者、発題者、担当幹事、担 欠席となったが、他の十五 当職員、計二八名であった。 教区からの代表者と講演 張田眞委員長の開会礼拝

准允式、高柳竜.

二議長の司式による

を議案として提出する件」。

場を教団内に設置する件』

て慎重かつ十分に議論する 会に『聖餐のあり方につい 件」と議案第9号「教団総

名の賛成によって、可決さ の中での議事のため、議案 決に入り、一五九名中八二 第8号は数名の発言の後採 議案だが、一日限りの日程 一ぶりの開催となった。参加

十五教区六一名の参加者が な面から全国集会として は、 四年ぶりの開催となっ

差別問題小委員が主催して この全国集会は、障害者 資金的 師を立てず、様々な「障が 障がいの苦しみの根底にあ ることを主とし、主題を「① とに分け、その理解を深め い」について、グループご 今回の集会は、特別な講

4年振りの開催となった がいを考えるグループ、③ えるグループ、②視覚の障 **聴覚の障がいを考えるグル** グループは①心の病を考

た。

「障がい」を考える全国交流会 る心と、魂の配慮を豊かに するために「②教会におけ と二つに設定した。 る取り組みのわかちあい」 的障がいのグループ」 参加を呼びかけた。 今回の交流会は、

でおられる方々の思いや教 議する方法ではなく、 る目的とした。また、講師 会の課題を自由に話し合う 称の通り、「交流」を主た による講演や発題を基に協

五つに分け、心の病を考え ことについてご指摘を受 障がいのグループ」がない 分け、全部で六つのグルー るグループは希望人数が多 教区に再度連絡をして「知 案内の段階において「知的 プ構成で行われた。なお、 かったため、さらに二つに 委員会は反省をし、 各 ができた。

、その名 <u>へ</u>の る課題は、差別だけに留ま 分かち合うことができたこ いを超えた御言葉の恵みを ている信仰者として、障が 主イエスによって生かされ 会的にも多くの取り組みが とは感謝である。 ある。その取り組みの中で、 らず、身体的、精神的、社 (加藤幹夫報)

仰の証しを分かち合うこと 通してもまた、とても貴重 め、グループの時間を十分 で話し合ってきた。このた 機会にしたいことを委員会 なご意見や、すばらしい信 にとることができ、全体会 において発表を聞くことを 「障がい者」が背負ってい とを柱にした。主題講演を る「家庭崩壊」「D>」「虐 かを皆で考え、 う受け止め、対処できるの 深刻な社会問題となってい 準備されたのは、今日的に 法律的な具体事例として 待問題」等を教会としてど 「子どもの人権問題」講師・ さて、今回の全国会議で 共有するこ

の事例報告があった。 リスト教奉仕団常務理事)、 化に向かう地域に立つ川谷 教会の現場からとして当委 から一石田周介氏(日本キ 待」 - 児童養護施設の立場 頼し、発題を「子どもの虐 坪井節子氏(弁護士)に依 教会の宣教的課題と実践」 今回 として認識し、自殺防止の のお話を聞いた。講演を受 国際ビフレンダーズ東京自 内教会牧師·現ZPO法人 ために教会がなし得ること 殺防止センター副理事長) 状」講師・西原明氏(元島之 防止センターの働きと現 自殺問題を社会問題

特に、靖国・天皇制問題小

て、それぞれ報告がされた。

対話を含めていく』件」に

お詫びして訂正致します。

おいても社会問題化してい のテーマは地方や都市に限 て学ぶことができた。 る事柄であるゆえ、共感し 全国的にどの地域に

こととなった。総じて、教

小委員会を続けるために

「継続のお願い」を宣教委

窓口や対応は統一されてい 各教区においても災害時の 団社会委員会においても、

員会へ提出することを承認

ないが、こうした活動報告

また、委員会開催中に、

の情報交換を行うことによ

教区間相互の支え合いや

とが報告され、総理大臣及 三人の死刑執行があったこ

催となった理由等の説明が いる状況を出席者で確認 会として現時点で把握して 全国会議の位置づけ、不開 地震に関しては、当委員 会活動の内容を相互理解す り各教区、 陸地震直後の全国会議とな 特に今回は、岩手・宮城内 ニュアルの有無」をめぐっ ったが、事前にアンケート るために教区報告の時を持 を含め多様な意見が出た。 した「災害時の緊急対応マ その必要性のあるなし **また、各教区における社** 教団の災害に対

> の課題と共に「平和」「人権」 きた。なお各教区とも地域

憲法問題」等にそれぞれ

内陸地震に関しても情報収

三日前に起きた岩手・宮城 すことを確認した。さらに び法務大臣宛に抗議文を出

情報連絡の必要性が確認で

災状況の説明等が求められ

宮城内陸地震に関しての被

て、二日前に起きた岩手・

有できた。 (土地武報)

議後の委員会となり、全国

今回は全国社会委員長会

の取り組み方で対応してい

ることも各教区報告から共

できることを協議した。 集を行い、当委員会で対応

35総会期第五回社会委員会 会礼拝説教の後、講演「自殺 が鳥居坂教会(東京)を会 西之園路子委員による開 八月十七日~十八日、 ること」として教科書検定 らない沖縄の現状報告があ よる「沖縄から問われてい 問題や基地被害が一向に減 することが確認された。 また別件では上地委員に

が、

概ね意義ある会議であ

上の反省点も多々あった 会議の総括を行った。運営

ったと評した。(上地武報)

場に開催された。

天皇制問題小委員会に関し 委員会、⑤日本キリスト教 報告、③常議員会、④宣教 ①教務・業務報告、②会計 人ト教保育所同盟、

⑦靖国・ 社会事業同盟、⑥日本キリ 諸報告

・協議事項では、 た合同教会として、学びと 究所の見解を承認するので く』件」を、「『宣教共働研 認するのではなく、様々な はなく、様々な背景を持っ 三号二面東北教区総会の記 お詫び・訂正新報四六五 背景を持った合同教会とし 事中、「『未受洗者配餐を承 て、学びと対話を含めてい



坪井節子弁護士による主題講演

仰を学ばせて頂きました。 毎朝教

そして、その交わりを通して信

気のため、一人ひとりのために祈

目身朝起きて、まず聖書を読み祈 をお願いしたものです。今は、私

す。

皆、年を考える暇

無く賑やかで楽しく過

など考えられないので

が大事で、いない生活 れます。皆、娘、息子 行事や父母会も行なわ また教会員の方々をお乗せし、出

好きな私は、子供たちを乗せて、

い出を頂きました。車の運転が

下さいました。とても

楽しかったです。

かけて楽しかった事など思い出し

にお世話になっていま

時々バザーがあり

そして、今は作業所

の皆さんには、本当にたくさんの

って参りました。それぞれの教会 **教会、上尾合同教会とお世話にな** こか牧師館生活が三〇年を過ぎて

気がついてみますと、いつの間

教

半の間、家族は、教会の皆さんに

ます。 牧師が米国へ留学中の二年

はプラムの花が真っ白に咲き誇り

北本は、野鳥の声が賑やかで、春 会で奉仕させて頂いております。 おりました。 現在牧師は、 北本教

教会の電話番

石川ふみ子 (北本教会員)

牧師は教会と神学校との間を行っ 色々お世話になり感謝でした。 今

り来たりして、相変わらず教会

に支えて頂いております。

今まで、横浜二ッ橋教会、中遠

にも頼まれたりで、本当に、せっ 祈りの課題がたくさんで、 個人的

階から元気に降りて、教会の扉を 番をしています。日曜日の朝、 っています。家庭内でも教会でも

ごしています。

さて、私は教会の留守番、



牧師は教会へ逃げます 時として夜大騒ぎの事もあって、 ゃに大変な道のりでした。 今でも 今三〇歳になりました。 この頃は 子は、最重度の知的障がい者です。 出会いも有りました。 長女の真知 せと心を尽して祈らせて頂いてい 振り返ってみますと、 めちゃくち ているつもりですが、今まではと 昊知子という人は、 と大分理解し **真知子が成長するまでにお世話** 教会の交わりだけでなく、 他の

す。集う私たちも様々な荷を背負 お茶会をします。 の一つひとつを礼拝において神様 にお渡しして、後は、楽しく皆で イッチを入れたりしています **摂いております。** はなく、 神様に支えられ歩ませて と、よけい元気に楽しくなります って一週間を過ごしています。そ 牧師も私も何かと器用なたちで 教会には、様々な問題がありま 新来者が加わる

寝していますが、求める方たちの雷 れた方を信じる受洗者が、今でも のかわかりません。 とても不思議 教会に与えられ続けている事に感 な事です。遥か昔、十字架に掛けら します。教会の電話番は、時々昼 何時、誰が教会へと導かれて来る

になった言葉の教室や保育園、 護学校のお友達や先生方、

皆さんも大勢見に来て 作品展もして、教会の 方々にお会い出来まし た。グループで染織の 様々な養 話をいつも待っています

人七月の新刊

石川栄一牧師と共に

《教会幼稚園融資金募集》

幼稚園の土地拡張、増改築、新 築のため、幼稚園融資金 2008 年 度分を次の要領で募集します。

額:50 万円~300 万円 ◎返済期限:5 年以内

◎利 子:期限内 年1.0% 期限後 年 2.0%

2008年度は600万円を2~ 3の教会幼稚園に貸し出します。 希望幼稚園は、教区事務所を通 して教団教育委員会まで申し込 んでください。締切は8月29日。 融資規定、申請書は教育委員 会(形 03-3202-0544) ^

「同志社神学協議会 2008」

のお茶会の用意をします。礼拝の

所に回り、お湯を沸かし、礼拝後

から玄関や庭をパッパと掃いて台

響くのを心の耳で聞きます。 それ

時すでに、天上の奏楽の音が鳴り 開け、新しい風を入れます。 その

「会衆主義教会の伝統と合同教会の課題」

がっかりしながら、エアコンのス ろうろして、出席の方が少ないと 時刻になりますと、後ろの方でう

- 2008年8月25日(月)~26日(火)
- 同志社大学今出川寒梅館および関西セミナーハウス
- 本井康博さん(同志社大学神学部)
- 藤崎義宣さん(久ヶ原教会) 山下慶親さん(熊本草葉町教会)

後宮敬爾さん(札幌北光教会) ◎案内、申込書を必要とされる方は、下記実行委員会までご連絡ください。

◎参加申し込み〆切:7 月 31 日(木)必着 〒 617 - 0833 京都府長岡京市神足 1 丁目 18 - 28

日本キリスト教団 長岡京教会 韓 守信(はん すしん)気付 「同志社神学協議会 2008」実行委員会 TEL•FAX:075 — 951 — 2207

教育者、社会活動家として 座」で語った言葉を収録。 多義にわたり活動した著者 む』 井上洋治・四六判・二 が代田教会「キリスト教講 ほ』福田佳也=編・四六判 『イエスの福音にたたず 『隅谷三喜男 信仰のこと 二| 〇〇円/経済学者、 http://www.bp.uccj.or.jp 出版局ニュース 訂正 教会が語るべき言葉とは。 必要を感じていない人に る人など、切迫した福音の 強い人、人生を楽しんでい 訳・四六判・二三一〇円/ ろし。 の核心と境地。 局報欄、教会通信先変更住 ン/平野克己・笠原信一= の福音』 W・H・ウィリモ 『教会を必要としない人へ 4654号3面事務 最新書き下

神奈川教区を最後に教区総会が

下げ、教団として聖餐について論幾つかの教区では「勧告を取り に基づく議案が承認された。 議する場を設ける」、そうした要望 が展開された。

ながら「聖餐総会」の様相を呈す

1955 年、北海道生まれ、海外勤務、ぶどうの枝教会員



田嶋 映二さん

海外赴任を経て

ャンになりたい、でも だが、クリスチ

に「信二」と名付けた。 の祈りを通して与えられた息子 格闘のような体験であった。そ た。それはある意味では挑戦的 つの思いを持ち続けていった。 な祈りであり こんな自分はなれないという 一つの切実な願いを必死で祈っ ある時、 礼拝説教で導かれ、 ヤコブと神との に導かれ、ここで多くの者がか 見交換、互いに祈り合うことを している。 未信者の人もその会 つての田嶋さんのように、海外

理であり、生きる力であること を改めて感じ、自分の辛い経験 田嶋さんは聖書の御言葉は真

ながら信仰生活を歩んでいる。 は無駄ではなかったと主に感謝 仲間たちと共に励まし合い

れた。「あなたがたを耐えられな

た時に、聖書の御言葉に支えら

いような試練

に会わせることは

ないばかりか

れに耐えられるように、のがれ

身生活が始まり、熱病など死の

書の御言葉によって救われたと

における辛い現実に直面し、聖

その中、海外赴任が決まり、単

恐怖を味わう出来事を幾度も体

験した。もう

|駄目だと思ってい

かとの声を聞い た、議長としてどう責任を取るの そして「合同教会の豊かさのた

で未受洗者への配餐をめぐる論議

終った。差異はあるものの各教区

お豊かさ

きだ」として未受洗者への配餐を うことが明確にされてこそ合同教 めに聖餐の多様性は確保されるべ わせられる。 それが、「証しは一つ、告白は多様」 に捻転してしまう危険がつきまと

りも、真理においてのみ一致は可能 だ。多様性の豊かさが相対化による である」とはボンヘッファーの言葉 崩壊にならぬように願う。 教団総会議長 山北宣久)

た。そして教会生活をえすることから始まっ 会の礼拝へ車で送り迎関わりは、妻と娘を教 する妻の変化と娘の祈 拝へ出席するようにな 興味を持ち、一緒に礼 る姿を見て、信仰への

田嶋さんと教会との

る道も備えて下さるのである」

大きな決心へと導かれ、受洗の 分の培ってきたものや生き方を る神の存在を知らされた田嶋さ 恵みに与ることへと導かれた。 主に開け渡すことができなかっ んだったが、まだ、それまでの自 して、価値観、人生観が変わる 大きな出来事を体験し、主な しかし更なる海外赴任を前

(コリント第一10・13)。

海外で働く者たちが共通の話題 をテーマとし、一緒に食事や意 教派の日本人クリスチャンたち で信仰の交わりを持っている。 現在は六回目の赴任地で、超

ո*միմի անվ*արհանի հայդարին հ りまことなる教会を犠牲にしてし had III had dhad III had dh

まう傾きがあるのではないかと思 会の豊かさは保持されるはずだ。 「告白は一つ、証しは多様」とい

「一致の中に真理があるというよ

それらは教団総会に提案され 従って第3回教団総会は、 さ 正当化する意見も耳にした。 ない。合同教会の本質は「まこと にして一なる教 かを改めて考えてみなければなら しかし合同教会の豊かさとは何 台同教 会」であろう。

から、営々と積み重ねてきた教区 違法聖餐問題なんかを持ち込む

の一致を破ることになってしまっ

所「鹿児島県神石郡神石高

昨今、

一なる教会を強調する余

て直し続けて四〇年。著者

4二0円/西欧キリスト教

五一二」に訂正いたします。 児島県鹿屋市横山町二二六 原町小畠二一六〇」を